

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

|             |                              | 学校名   | 青森県立七戸養護                              | 学校   |
|-------------|------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 授業について      | 教科領域名<br>(✓又は■で記入する。)        | <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽<br><input checked="" type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業<br><input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導<br><input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動<br><input type="checkbox"/> その他（ ） |                                       |  |
|             | 単元(題材)名                      | 「しんしゅ、はっけん！！」   |                                       |  |
|             | 単元(題材)の目標                    | ・想像したことや感じたことなどを、タブレット端末を操作して表現することができる。  |                                       |  |
| 学習集団と実態     | 学部・学年・人数                     | 小学  | 部                                     | 4 年 6 人  |
|             | 本単元(題材)における学習集団の主な実態         | ※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。<br>・想像して、形のあるものを作成することが好きな児童である。<br>・休憩時間（昼休み）などは、i P a dで動画を見たり写真を撮影したりすることが多い。  |                                       |  |
| ICT活用について   | 使用した支援機器・教材の名称               | ※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。<br>i P a d  |                                       |  |
|             | 使用したアプリケーションの名称              | ※使用したアプリケーション名を記入する。<br>・カメラ<br>・編集機能   |                                       | アプリマーク<br> |
|             | 主な活用の用途<br>(✓又は■で記入する。)      | (複数選択可能)<br><input type="checkbox"/> コミュニケーション支援<br><input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 )<br><input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )  |                                       |  |
|             | ICT活用のねらい                    | ・感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現のツールとして ICT を活用する。<br>・自分の見方や感じ方を深める鑑賞の学習過程において ICT を活用する。  |                                       |  |
| 活用の状況と支援    | 活用の状況と支援                     | ※ICT 活用場面と行った支援について記入する。  |                                       |  |
|             |                              |   | 内 容 ( i P a d 使用時 )                   | 留意事項及び支援方法   |
|             |                              | 導入  | ① 授業内容の確認。手順を知る。                      | ・事前に教師が作成した作品の鑑賞及び作成方法を i P a d で提示する。   |
|             |                              | 展開  | ② 写真を撮る。<br>③ 形や画像に合うように色を塗ったり描いたりする。 | ・使用方法などをテレビに映し出し、児童と一緒に操作するように提示する。  |
| まとめ<br>(発表) | ④ テレビに映った作品を見て、工夫した点などを発表する。 | ・工夫した点を大きくしたり囲んだりして、注目を促す。  |                                       |  |